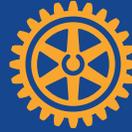


Rotary



nylc™



奉仕学習のワークブック 青少年向け

本資料は、奉仕を通じた学習体験について調べ、計画を立てるためのワークブックです。ワークブックに取り組む前に、[ロータリーのラーニングセンター](#)にある**青少年向け：奉仕学習ガイド**のコースを利用することをお勧めします。

このワークブックでは、奉仕学習（サービスマーケティング）の各段階について学習します。青少年や若者は、奉仕学習を通じて、地域社会の重要なニーズに取り組みながら、リーダーシップスキルを高めることができます。

奉仕学習を開始する前、また開始後の各段階で、ほかの参加者やアドバイザーと協力して本ワークブックをご活用ください。考えを深めるための質問、ヒント、テンプレート、リソースが収められています。

行き詰まったときやガイダンスが必要な場合は、**上記コース**を再び参照するか、youngleaders@rotary.orgまでお問い合わせください。

では始めましょう！

THE NATIONAL YOUTH LEADERSHIP COUNCIL とのパートナーシップ

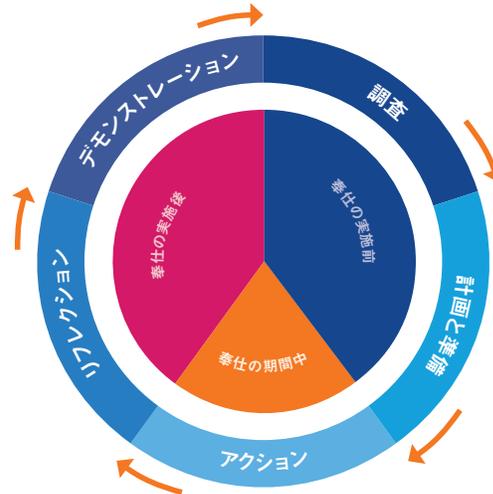


「奉仕学習のワークブック」と「青少年向け：奉仕学習ガイド」コースは、青少年の参画と奉仕学習の分野で活動する National Youth Leadership Councilとのパートナーシップを通じて開発されました。
詳しくはnylc.orgをご覧ください。



奉仕学習のサイクル

奉仕学習には5つの段階（調査、計画と準備、アクション、リフレクション、デモンストレーション）があります。



調査

リサーチと質問を通じて、地域社会や特定コミュニティの真のニーズとその原因となる要因を特定します。

計画と準備

初期の調査に基づいて、明確な目標、タイムライン、役割、フォローアップ計画を含む、現実的かつ充実した奉仕プロジェクトを計画します。

アクション（実行）

直接的・間接的な奉仕活動やアドボカシー（擁護活動）による奉仕を通じて計画を実行します。アクションを通じて、プロジェクトとそのインパクトに関するデータを集めます。

リフレクション（内省）

何が効果的だったか、または効果的でなかったかなど、学んだことを振り返ります。リフレクションはアクションの後だけでなく、奉仕学習の全段階で行うことが重要です。

デモンストレーション（提示）

学んだことや地域社会・特定コミュニティにもたらした影響を、奉仕の参加者や支援者に伝えます。また、リフレクションを通じた発見や学習に基づいて推奨事項を伝えます。

次に、各段階について詳しく見ていきましょう。





調査

調査の段階では、リサーチと質問を通じて、地域社会や特定コミュニティの真のニーズとその原因となる要因を特定します。

自己評価の実施

次の質問に個別またはチームで回答し、奉仕学習のサイクルを開始しましょう。

あなたの名前： _____

チームで協力する場合、チーム名（該当する場合）： _____

あなた、またはチームは、なぜ奉仕学習に関心があるのですか？目標は何ですか？

チームで協力する場合、いつ、どこで会いますか？

奉仕学習のサイクルにおいて、あなたや各チームメンバーが持っている役立つスキルは何ですか？どのようなスキルを身につけたい／向上させたいですか？例として、次のようなスキルが考えられます。



言語スキル：文章を書く、ポッドキャストを作る、ブログを作成する



視覚的スキル：ウェブサイトを立ち上げる、写真を撮る、絵やグラフィックを作成する



音楽スキル：音楽シーンをつくる・演じる、作曲する、演奏する



数学的スキル：データを収集／分析する、グラフや表をつくる、アンケート調査を作成する



奉仕学習を通じて、あなたはどのようなスキルを生かすことができますか？

どのようなスキルを身につけたい／向上させたいですか？

あなたは、どのような社会的目的（コース）に熱意を傾けていますか？その目的が、どのロータリー重点分野と関連するかを考えてみましょう。

重点分野	内容
平和の推進	同じ文化間または異文化間で理解を深めるために対話を促進する。
疾病との闘い	ポリオ、HIV／エイズ、マラリアといった命を脅かす疾病の蔓延を防ぐために、地域社会への教育と支援を行う。
水と衛生	より多くの人々が安全な水と衛生設備を利用し、衛生的な生活を送れるようにするための支援を行う。
母子の健康	大勢の母子がより健康に暮らし、成長できるよう、質の高いケアをより多くの人びとが利用できるようにする。
教育の支援	地域社会の能力を向上させることで、基礎教育を後押しし、教育の場におけるジェンダー格差を縮め、成人の識字率を高める。
地元経済の成長	経済と地域社会の発展を促し、正当かつ生産的な仕事を得られる機会を創出する奉仕プロジェクトを実施する。
環境の保護	天然資源の保全と保護を強化し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援する。

インターアクトクラブによるプロジェクトの例

ブリティッシュコロンビア州 (カナダ) の学校にあるインターアクトクラブは、アフリカの元少年兵にリハビリと支援を提供している団体「Innocence Lost Foundation」をサポートしました。

カルタゴ (チュニジア) のインターアクトクラブは、困っている家族のために食料を収集して配布し、愛国的なシンボルを用いて公共交通機関の拠点を装飾しました。

アルバ・インターアクトクラブは、海洋環境の保護団体「Aruba Reef Care Foundation」、ロータリアン、ローターアクターと協力して、汚染問題に取り組んでいます。このチームワークを通じてプラスチックごみを回収し、海岸の環境改善に貢献しています。

第5170地区 (米国) のインターアクターは、薬物中毒からの回復を支援するプログラム「Shatterproof」のため、公共広告を作成し、12万ドルを目標とする募金を始めました。集めた資金は、治療、中毒の研究、プログラム開発に役立てられます。

ラージクマール・カレッジ (インド) のインターアクトクラブは、廃墟となった小学校校舎でカラフルな壁画を描き、円形劇場のシートを作り、屋外トイレを建てました。さらに、その学校へと続く道路を舗装しました。

アンドラディーナ・ウルブング・インターアクトクラブ (ブラジル) は、Librasと呼ばれる手話を学び、ほかの子どもたちに教えました。

どのような活動に力を入れたいですか？

地域社会の把握と地域調査の実施

次に、地域社会または特定コミュニティのニーズについて調査しましょう。以下の質問に、個別またはチームで回答してみましょう。

奉仕の対象は何ですか（海外の地域社会、国、地元地域、特定グループの人びと）？

地域調査は、以下のいずれかの方法、あるいは複数の方法を用いて行うことができます。



メディア：地元のニュースや記事を確認し、地域社会が直面している問題について詳しく学ぶ。



アンケート調査：地域社会の課題に関するアンケート調査を作り、教師、学校職員、地域オーガナイザー、ロータリアン、ローターアクター、インターアクターに回答してもらう。



インタビュー：地域社会の専門家を招き、地域社会の課題についてのインタビューやディスカッションを行う。よく練られた質問を用意し、得られた情報を分析する。



座談会（フォーカスグループ）：少人数の若者や地域社会のメンバーを集め、地域社会における重要な問題についてのディスカッションを進行し、発言内容を記録する。

どの方法を使用しますか？

調査の結果、地域社会（または特定コミュニティ）にどのような強みがあることがわかりましたか？

調査の結果、地域社会（または特定コミュニティ）にどのようなニーズがあることがわかりましたか？

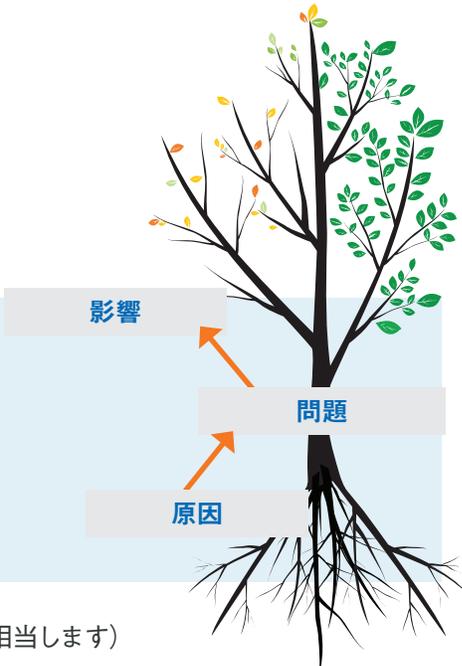
以下の点を検討しましょう。ワークブック末部にあるメモ欄を使用できます。

- 地域社会のニーズを裏付ける、どのような証拠がありますか？
- ほかに、どのような調査が必要となりますか？

根本的な原因への取り組み

地域調査を実施したら、特定した問題の根本的な原因が何かを調べましょう。
以下の問いについて考えてください。

どのような問題があることがわかりましたか？
(木にたとえた場合、この問題は幹に相当します)



影響

問題

原因

その問題によって、どのような影響が生じていますか？ (この影響は枝や葉に相当します)

根本的な原因は何ですか？ (この原因は根っこに相当します)

問題の根本的な原因を特定した結果、ニーズに取り組む方法に変更を加える必要はありますか？

地域社会のリソースを特定する

地域社会には、利用できるさまざまなリソースがあります。それらを特定して、奉仕プロジェクトで活用しましょう。地域社会には、どのような異なるセクターがあり、どのようなリソースやサポートを利用できるでしょうか。協力してくれる団体や人材を見つけ、利用できるリソースを探すために、以下のグラフィックをご参照ください。

地域社会で得られるリソース



どのセクターと協力することができますか？ また、ニーズに取り組むために、どのように協力できますか？

ここまでの段階を経たら、計画と準備を始めましょう。まず、実行できる奉仕プロジェクトの種類を考えましょう。



直接的な奉仕：誰かを直接に支援する奉仕活動です。たとえば、高齢者の歴史証言を文書に記録する、年下の生徒を指導する、自由に移動できない人たちに食事を提供するといった活動があります。



間接的な奉仕：支援を行っている団体や人々をサポートします。たとえば、清掃活動への参加、特定の目的のための募金、学校や図書館による図書収集のサポートなどがあります。



アドボカシー：人びとに影響を与える問題についての認識向上に取り組みます。たとえば、ポリオ根絶のような課題について、自治体による支援を呼びかけたり、認識向上キャンペーンを実施したりできます。

どのような方法で活動を実施しますか（一つの方法に限定する必要はありません）？

これまでに考えたことを基に、奉仕学習プロジェクトの内容を考えましょう。内容には、特定したニーズ、焦点を絞るためのリサーチ方法、利用できる地域社会のリソース、用いる方法を含めてください。



計画と準備

調査が済んだら、計画と準備に取り組む段階となります。この段階では、いつ、どのようにプロジェクトを実行するかを決定します。以下の問いについて考えてみてください。

調査段階でわかった必要なスキルや専門知識を、どのように得ることができますか？

ニーズに取り組む方法についてチームからさまざまなアイデアが出た場合、それらの複数のアイデアをどのようにプロジェクトに取り入れますか？

プロジェクトが目標を達成し、地域社会に恩恵をもたらしていることを、どのように確認できますか？

地域社会のパートナーとボランティアを見つける

外部の団体やボランティアと協力する場合、どのようにサポートしてもらいますか？前項で候補として挙げた協力団体をもう一度見直しましょう。

外部団体と協力する場合、誰／どの団体が何を担当するかをどのように決めますか？その決定について、どのように相手に連絡しますか？

スケジュールを立てる

スケジュールは、計画立案の重要なステップです。以下の問いについて考えてみましょう。

プロジェクトの短期的な目標は何ですか？

プロジェクトの長期的な目標は何ですか？

「青少年向け：奉仕学習ガイド」のコースで、アイデアや目標設定の方法をご参照ください。

以下のテンプレートを使用してスケジュールを立てることもできます。プロジェクトの各段階で実施する活動を書き込みましょう。その際には、次の点について考えましょう。

- プロジェクト実施前のタスク（例：推進資料の作成）、実施中のタスク（例：チームメンバーへの活動の指示）、実施後のタスク（例：ボランティアへの感謝）にはどのようなものがありますか？
- 各タスクを誰が担当し、いつまでに完了しますか？

期日	タスク	担当者	場所	備考

予算を立てる

計画と準備の段階では、予算も作成します。以下のテンプレートを使用して、細部にわたって予算を立ててみましょう。費用の各項目、資金源、合計費用を記入しましょう。以下の問いについて検討しましょう。

- 既に確保している資金や資金源はありますか？
- どれくらいの追加資金が必要ですか？
- 教材、印刷物、軽食など、プロジェクト中に何が必要となりますか？

以下のテンプレートを使用して、予算を検討しましょう。費用の項目は、できるだけ詳細に記してください。

項目	必要である理由	必要額	資金源	担当者	期限

ロータリーのプロジェクトで使う資料が必要な際は、ロゴやデザインに関するロータリーのガイドラインに沿って作成してください。素材や関連資料は[ブランドリソースセンター](#)でダウンロードできます。

必要予算をリストにしたら、十分な資金があるかどうかを確認し、不足している場合は、予算を確保する方法を検討しましょう。募金や資金調達は、次のような方法で行うことができます。



イベント／行事：マラソン大会、タレントショー、映画鑑賞会などを開き、集めた資金をプロジェクトに充てることができます。



補助金や助成金：地元の非営利団体や企業が提供している補助金や助成金があるかどうかを調べ、申請してみましょう。また、地区の資金が利用可能かどうか、ロータリークラブに尋ねることもできます。



寄付：プロジェクトへの寄付を友人、家族、学校関係者、地元企業に呼びかけてみましょう。



物資の寄贈：備品、図書、衣類、食料など、プロジェクトに寄贈できる物資があるかどうか、友人、家族、地元企業に聞いてみましょう。

アドバイザー／顧問（成人）と協力して、計画段階でロータリーの青少年保護方針を確認し、実行段階でこの方針を守りましょう。

記録する

奉仕プロジェクトの記録を残すことも重要です。以下の役割を担当するチームメンバーを決めておきましょう。

役割	タスク	担当者

未成年者を含む写真や動画を投稿または公開する際は、事前に保護者の許可を得る必要があります。また、写真や動画に成人が含まれる場合は、投稿または公開する前に本人の許可を得てください。アドバイザー／顧問（成人）と協力して、プロジェクトの実行段階で使用する写真・動画の使用許諾書を準備しましょう。



リフレクション (内省)

プロジェクトが完了した後にも行うべきことがあります。プロジェクトを振り返り、うまく行った点、行かなかった点、その理由・原因を考えてみましょう。

下記の問いを参考にすることができます。可能であれば、プロジェクトの例とデータ、記録文書を使用しましょう。

プロジェクトの経験を振り返るために、以下のようなさまざまなスキルを使ってみましょう。



言語スキル: プロジェクトに関する地元紙への寄稿、ポッドキャストでの配信、ブログ投稿など



視覚的スキル: スライド資料の作成、ウェブサイトの開設、写真・絵・グラフィックの作成など



対人スキル: ペアまたは少人数グループで体験を語り合う、協力団体や受益者とのインタビュー、学んだこととの紹介など



数学的スキル: プロジェクトに関するデータの収集と分析、グラフや表の作成、アンケート調査を実施、他の参加者との経験共有など



音楽スキル: プロジェクトでの経験を紹介する音楽や曲の作成、演奏など



内省スキル: プロジェクトに関する体験記、エッセイ、コラージュの作成など

奉仕が参加者にもたらしたインパクト

実施したプロジェクトについて、どのようなことに誇りを感じますか？

プロジェクトを振り返って、ほかの方法にしたほうが良かったと思うことや、もっとうまくできたかもしれないと思うことはありますか？

取り組んだニーズや課題に関して、どのようなことを学びましたか？

プロジェクトの結果、その地域社会または特定コミュニティに対する考えが変わりましたか？ 変わった場合、どのように変わりましたか？

プロジェクトへの参加を通じて、どのようなスキルを伸ばすことができましたか（コミュニケーション、チームワーク、リーダーシップなど）？

プロジェクトで知り合った、または協力した人たちについて、印象に残っている言葉や活動は何ですか？

地域社会や特定コミュニティにもたらしたインパクト

プロジェクトのどの部分が、最も大きなインパクトをもたらしましたか？

あまりインパクトをもたらさなかった部分がありますか。ある場合、それは何ですか？

このプロジェクトについてもっと考えるために、何をしますか（評価、反省会など）？

次のステップ

奉仕を継続し、もっと大きなインパクトをもたらす、多くの人に参加してもらうためのアイデアを考えましょう。

どのようなフォローアップが必要ですか？

答えが見つからない課題や質問はありますか？ ある場合、それは何ですか？

またプロジェクトを行うとしたら、どのような異なるアプローチで実行できると思いますか？



デモンストレーション（提示）

奉仕を通じた学習経験における最後の段階は、達成したことを人に伝えることです。成果と学んだことを伝える方法を考えてみましょう。

伝えたい相手は誰ですか（ほかの参加者、協力団体、地元市民、ロータリアンなど）？

プロジェクトが地域社会や人びともたらしたインパクトについて、どのようなことを伝えたいですか？

プロジェクトが自分にもたらしたインパクトについて、どのようなことを伝えたいですか？

伝えたい相手がそれを広めるためにできることはありますか？何をしてもらいたいですか？



プロジェクトの成果を伝えるためのアイデアを以下にご紹介します。



イベントや行事：講演ディナーショー、アートショー、音楽リサイタルなどのイベントを開催して、プロジェクトの成果を紹介し、将来における取り組みへの支援を呼びかけます。



レポート作成：プロジェクトの全段階について伝えるレポートを作成します。また、プロジェクトの最新情報を含むウェブページを作り、参加方法と支援方法を紹介することができます。



プレゼンテーション：同じような関心を抱いている人のために、実施したプロジェクトに関するプレゼンテーションを行います。ロータリークラブやローターアクトクラブの例会、地区大会、その他の会合で発表する機会があるかどうかを調べてみましょう。



地元メディア：テレビ局、ラジオ局、新聞社にプレスリリースを送信し、プロジェクトに対する関心を集めます。



ソーシャルメディア：プロジェクトの情報をソーシャルメディアに投稿し、活動について人びとに知らせることができます。また、[ロータリーショーケース](#)への掲載を、スポンサークラブにお願いすることもできます。



地域社会のリーダー：プロジェクトで取り組む課題やその重要性、また支援方法について、地元地域社会のリーダーに手紙を書いたり、面会のアポイントメントを取って話したりできます。



毎年のインターアクト賞：国際ロータリーでは毎年、インターアクトによる優れたビデオ、エッセイ、写真を表彰しています。最優秀ビデオ、最優秀写真、または最優秀エッセイに選ばれたインターアクトクラブには、クラブの今後のプロジェクトに充てるための賞金が授与されます。奮って応募しましょう。

プロジェクトがもたらしたインパクトについて、どのように学校、地域社会、ロータリー地区に伝えようと思いますか？

プロジェクトを支援してくれた団体やボランティアへの感謝を伝えましょう。手紙や面会を通じて感謝を伝えたり、プロジェクトの資料の中で協力者を紹介することもできます。



CONGRATULATIONS!

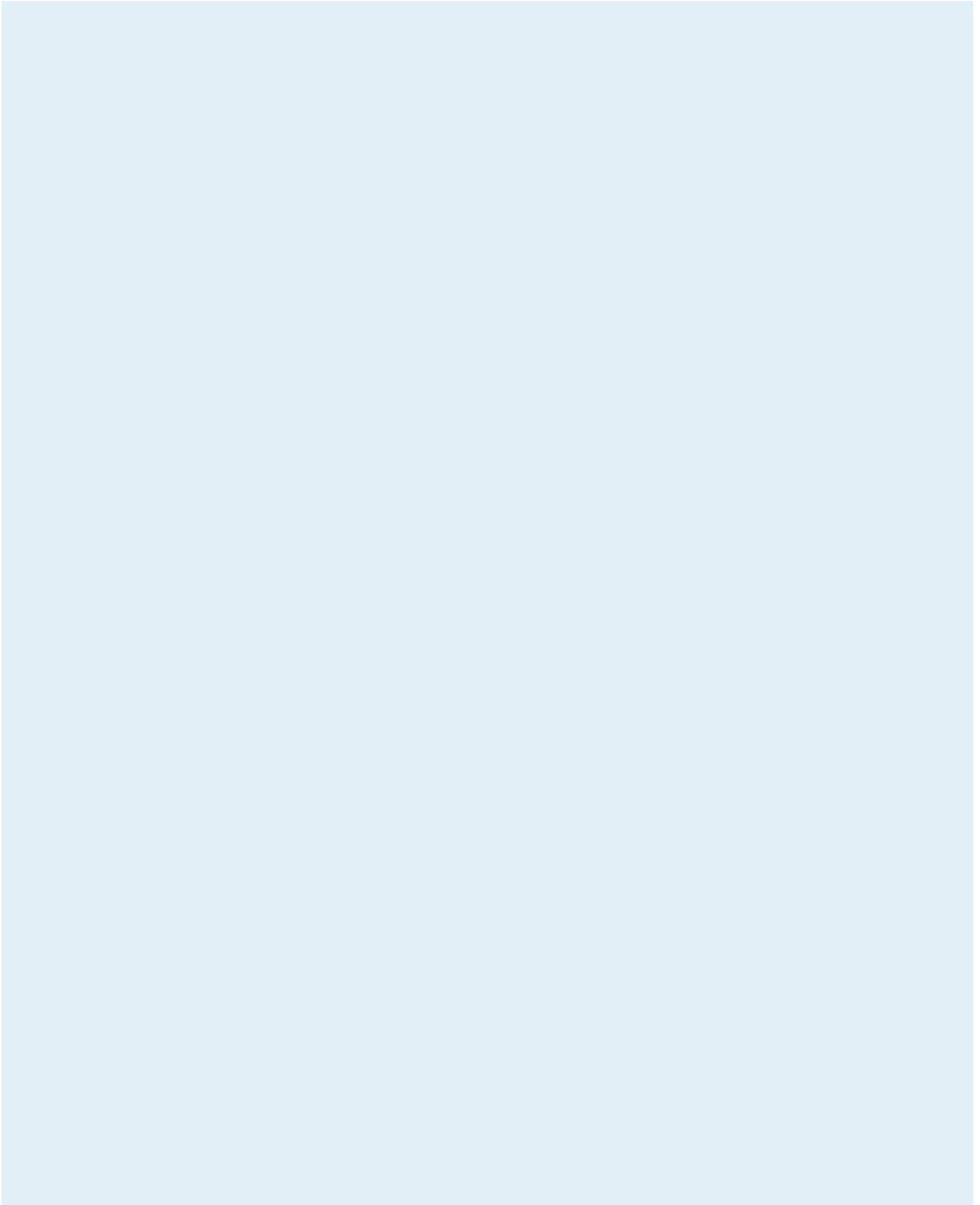
奉仕学習ワークブック（青少年向け）は以上です。皆さんの活動で大きなインパクトがもたらされたことを願っています。

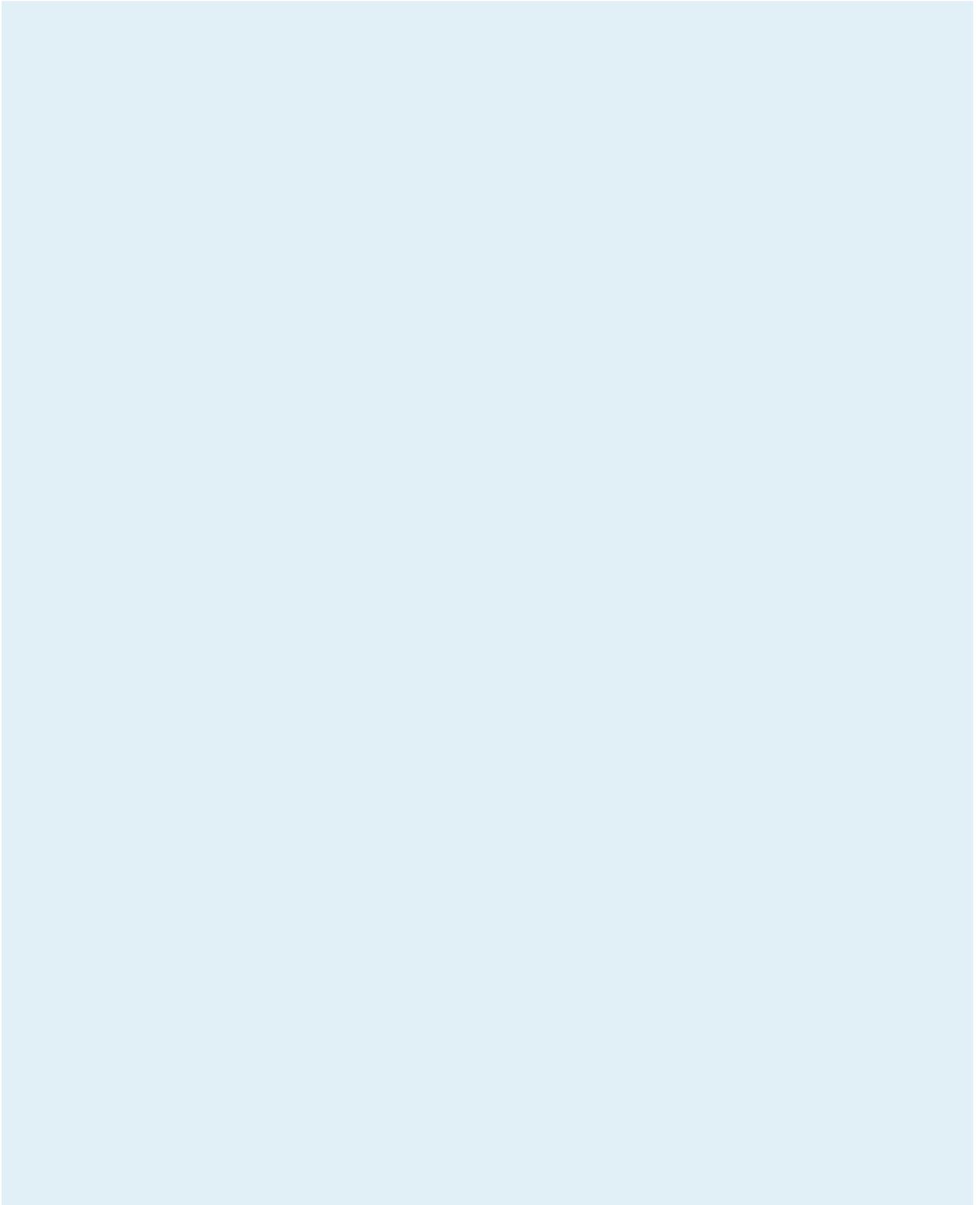
今回の成功を土台とし、本ワークブックを参照して、新たなプロジェクトに挑戦してください。きっと今回よりも多くのことが達成できるでしょう。地域社会は、皆さんによるリーダーシップ、奉仕、協力を必要としています。

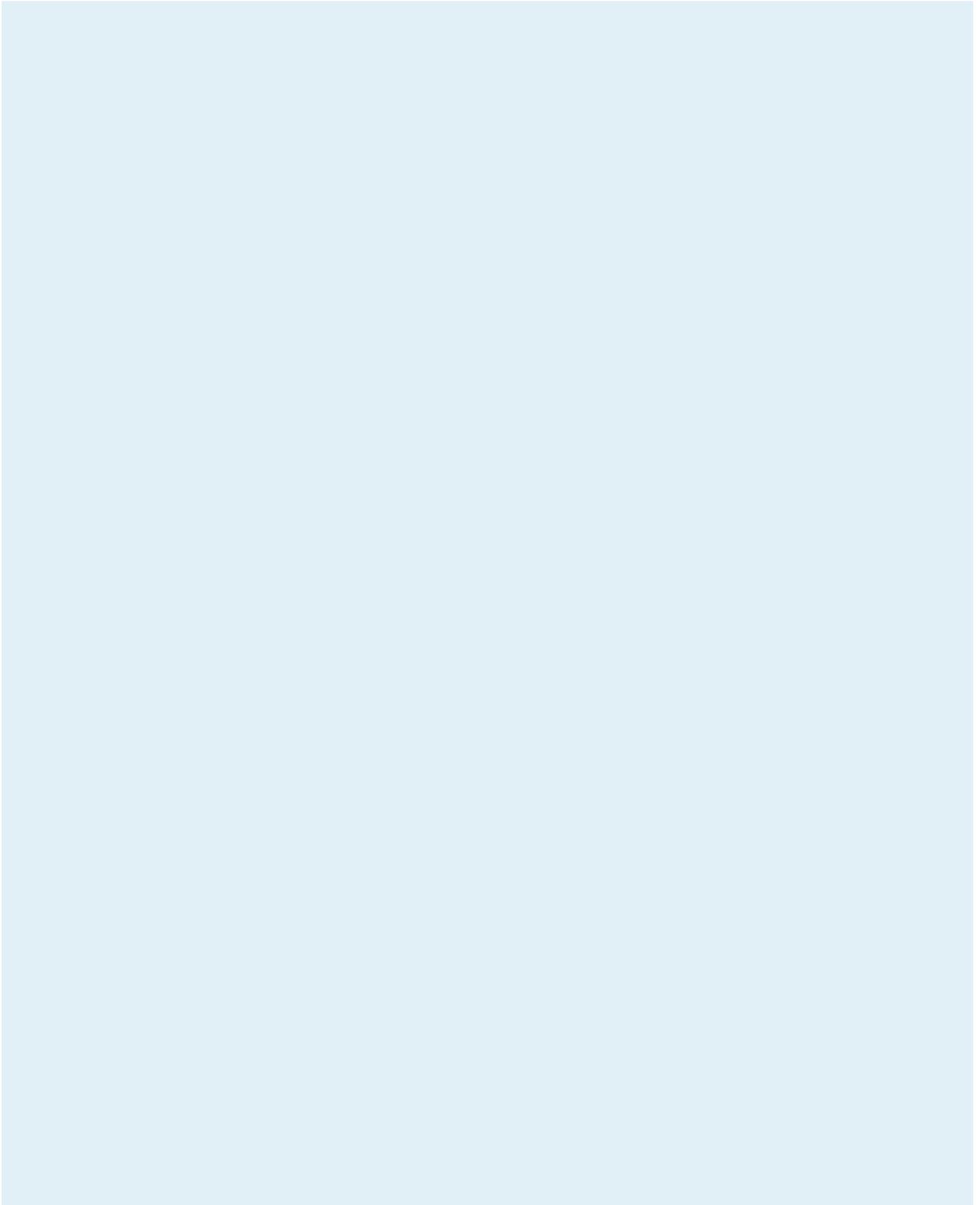
奉仕学習に関するご質問、または紹介したい奉仕学習プロジェクトは
youngleaders@rotary.orgまでお寄せください。

さらなるご活躍をお祈りいたします！











One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
rotary.org